

I. 出席していた1, 2回生と、どのようなやりとりが印象に残りましたか？

- ・専修の決まっていないという人が多かった。
- ・あまり話してないです。
- ・自分のやりたい分野がはっきり分かっていない人が意外と多かった。身の引き締まる思いだった。
- ・意外と具体的な興味をもっている人が多かった。「私は●について研究したいんですけど、ここの専修でやることはできますか？」など。
- ・司書資格の質問をされたが、上手く答えられなかった。
- ・具体的な質問をする人は本当に具体的な事を聞いていた。
- ・向学心のある子はあった。
- ・文学部は何でも研究できるといわれるが実際はそうでもない。
- ・二十世紀学と現代史学の違いを多く質問された。
- ・すでにやりたいことが決まっている人が多かった印象。
- ・まだ文学部の授業をとっていないので具体的なイメージが定まっていない。共通科目で大変なのは分かるが1回生の学部配当を増やす、宣伝するなどの工夫が必要かと思う。
- ・思ったより専修が固まっていた人が多く、何でもないやりとりをしたこと。
- ・選抜について（社会学）
- ・第二外国語の使用頻度
- ・他の専修との違いを聞かれ、返答が難しかった。
- ・したい研究の見通しが立っているような子が多かった
- ・所属しえちる専修への希望者がおらず、そもそもやり取りはなかった。同じ系の別の専修の大学生とは少し話げできた。
- ・一般教養で学んでから興味を掘り下げている人が多くてまだまだ日本はやれると思ひました。
- ・1回生「倫理学やっいて実際に影響ありしたか」 私「…」
- ・1、2回生は何を質問していいのか分からないのだろうなという印象でした
- ・単位の話、研究の内容に関心を持っている子が多かったです。緊張しててあまり話せない子もいる印象でした。
- ・自由科目群についての質問。広く言えば履修に関する質問。「普通にやれば大丈夫」といったが、不十分な回答だったように思ふ。「何が知りたいのか」が上手く把握するのが難しいのが1、2回生（の多数）だろうから、そこを上手く突けるようなやりとりができなかったのは惜しまれます。
- ・研究室で扱っている内容について、その分野を専門としている先生がいらっしやらないと研究が難しいのではないかと考えていらっしやるかたがいたことです。研究室を選ぶこ

とは、あるものに対する手法、アプローチの方法を選ぶことと等しいのではないかと思うのですが、あまりそう捉えているかたがいない印象でした

- ・この専修は何をしているんですか、という質問が多かった。
- ・自分の専修を志望している人とはなかなか出会えず、最後の方に他の人に教えてもらって判明することがありました。
- ・もくもくと料理を食べている姿が印象的でした。
- ・本当に興味のある子はとことん質問してきます。
- ・精神分析に興味があるという1回生がいたが、なかなか心理学専修でやっている内容を誤解している印象が残った。
- ・友達関係について 分属後の友達関係について悩んでいる人に積極的に誘うことの重要性を伝えた。
- ・2～3の専修の間で迷っている人が多かったこと。
- ・もうこの専修に決めているような人と、他では中々きけないだろう話（ゼミの内容、発掘調査、進学、就職など）したのは我ながら有意義かと思いました。
- ・1回生はもうゆとり教育を受けていなかったということ。
- ・他人が何に興味があるのか、またそのルーツは何かということを知って面白かった。
- ・複数の専修にやりたい研究がまたがっているように思えて、選択に悩んでいるというもの。私の専修でできそうな範囲を答えました。

II. 1, 2回生に対して、どのようなサポートをするのがより望ましいと思われるますか？

- ・それぞれの専修についてのより詳しい説明。
- ・より先輩と話しやすい空気づくりが必要。
- ・今の状態で十分。
- ・個別の相談にのれる体制。例えば系ごとの座談会。
- ・このような企画の告知や宣伝をもっとすべき。
- ・事務室前の掲示板に貼るだけの告知を減らす（KULASISのTOPICにのせる）
（講演会など研究室絡みの掲示を見やすくする）
- ・その学問に気軽に触れられる機会を増やす。入門書のリストを公表するなど。
- ・系ゼミのコマをかぶらせない。
- ・過去の卒論テーマを教える。
- ・興味のあることがどこの分野にわたるのかをよくきかれたので、そのような情報を与えると喜ばれるかもしれない。
- ・How to study（特に必要は感じられなかった）
- ・系ゼミをもっと充実させる

- ・どんな内容の研究か、に加えて研究室の雰囲気が分かるような説明
- ・困っているとサポートを求めている学生には学生、教員、OBなどで対応するのがいいと思う。他には、今設置されている先輩相談室があれば大丈夫だとは思う。
- ・十分な気もしますが、でもやはり研究室自体がもっと行きやすくなると、1，2回生から自分のやりたいことが分かるのかな・・・と
- ・現状のままで十分かと思います。
- ・3回生以降の生活の想像があまりつかなかった（ついていない）ようなので、ゼミの様子や研究室の様子をもっと知れる機会があるとよいと思います。
- ・大学生活の送り方、進路の決め方などは皆関心を持つテーマであると思うので、それを気軽に相談できる雰囲気づくりは大切だと思います。僕らは就職についてはあまりアドバイスできませんが、そういうことに気が向いている子もいそうです。
- ・自身の関心を広げていくと同時に、最終的にひとつの専修を選べるようなサポート。「広げる」という点では、研究室訪問や夕食会などである程度達成できているように思う。一方、いずれ問題関心を同定し論文を書くという作業に取り組むために現実的なアドバイスや具体的なイメージを持ってもらうためのサポートも（学生によっては）必要と考える
- ・特殊講義の内容の授業が般教にもあればうれしいです。各研究室ごとに対象へどうアプローチをとるものなのかアンケートをとると分かりよいと思いますが、学生自身が勉強した結果、模索した結果のものだと思うので、どういうサポートがよいか難しいです。
- ・入ってからも文学部のパンフレットを渡すようにすれば、系や専修を選びやすいかと思います。
- ・こういった場を多く設ける。情報の宣伝をもっと目につくようにする。
- ・進路について考える授業があってもいいかもしれません。
- ・知りたい情報を正確に教えてあげること。
- ・今回のような行事は素晴らしいと思いますが、むしろ2回生にやってあげるべきだと思います。
- ・各専修の取り扱う内容がより明確に一覧になっているとよいと思う。
- ・十分です。
- ・専修に入るまでにしておいた方がよいこと（語学など）を包括的に教えるサポートがあるとよいと思った。
- ・上回生なら教員と直接話すのが一番よいですね。
- ・他学部に比べて必修分が少ない分、交友が希薄になりがちなので、こういう食事の機会が特に1，2回生はもっと多いほうがよいと思う。
- ・このような場を設けることは有効だと思う。
- ・サポート体制は整っているように感じているので、思いつきません。

III. 歓迎夕食会に参加して、どのような感想をお持ちですか？

- ・食事の量が多く、あそこまで余るのはもったいない。
- ・もう少し積極的に話しかけたかったのですが、なかなか難しい。
- ・良い企画だと思った。1回生のときに参加しておけばよかった。
- ・もう少し時間が欲しかった。
- ・ご飯がおいしかった。
- ・おいしかったが殻入れがほしかった。
- ・1回生の結束が固く、入りづらかった。
- ・将来の事、やりたい事を真剣に考えている人が多く、素晴らしいと思った。
- ・たくさん話せて楽しかった。1回生は白紙状態の子が多く意味があったと思う。
- ・結局、自分の漠然と興味のあるところにしか1回生は集まらない。他と比較してこそ意味があるのだから、主催者側がもっと配慮すべき。
- ・自分の専修希望の人がいなかったのが残念。
- ・もう少し先輩・教員の数が多ければよいと思いました。
- ・告知をなるべく大きくするのが良いです
- ・所属している系の人気の関係で少し暇な時間が多かった。
- ・私たちのときより豪華でした。同回の他専修との交流にもなって楽しかったです。
- ・途中で席替えとかがあってもよかったかなと思います。
- ・1、2回生が上回生とじっくり話す機会はあまりないと思うので良いと思いました（もっとあってもよいかも）。自分自身の生活や1、2回生の頃を思い出すきっかけにもなって、私としても良かったです
- ・僕ら自身も他専修の人々と触れ合えて楽しかったです
- ・親和的。案外教員の方々が積極的に学生に関わっているところが印象的だった。思っていたより現代の学生の実情に寄り添っている感じがし、好感を持った
- ・お寿司とケーキが食べられて嬉しかったです
- ・立食でももう少し後輩から話せる工夫があるといいかもしれません。
- ・立食会と研究室訪問の順序を逆にした方が良いと感じました。立食の方が種々な研究室の人と話せ、その時点で興味がなかった研究室にも話を聞いてみようと思えるからです。立食で話を聞いてみて、研究室でより詳しい話を聞くという順序の方がよいのではないのでしょうか。
- ・私自身楽しめ、こういった交流の場はお互いに有意義だと思います。
- ・料理がよかったです。
- ・参加者が多いな。一年生の意識が高い。
- ・1回生と交流できるよい機会だと思いますが、自分の専修に興味ある人が少ないので…
- ・誰が上回生で、誰が1回生か分からない（分かりづらい…）
- ・席に座った方が浮かなくて済むとは思いますが。

- ・ 1回生とより個人的な話（何が好きか、など）ができてよかった。
- ・ ごちそうさまでした。各テーブルの量は調整してもよいかも。
- ・ ご飯が美味しかった。
- ・ 近い専修の同期と親睦を深められたことがよかった。
- ・ 先生方の来て下さる専修と、いらっしやらない専修の差が大きく、自由さを感じました。

IV. 先輩相談室についてご意見、ご要望がありましたら自由に記入してください。

- ・ いつもお疲れ様です。楽しかったです。
- ・ 活動内容があまり分からない。
- ・ 是非活動を続けて欲しい。今回のように学生間、学生と教師間の交流を深めることのできるイベントを他にも開催してもらってもいいと思う。
- ・ これからも頑張って下さい。
- ・ 機会があれば伺わせていただきます。
- ・ 明るい方々で好印象でした。自分も（4回生だけど）行ってみたいと思われました
- ・ せっかく良い相談室を準備されているので、もっと知らせても良いかなと思います。
- ・ おつかれさまです。
- ・ 特にありません。
- ・ 1度行ってみたいと思った。